

秋田活版印刷株式会社 秋田市寺内字三千刈110-1

顧客に距離感を感じさせないウェブ校正システムと製本加工の強化で受注増を図る

事業計画名	ITの最新技術を駆使するなどして印刷前後の工程を刷新し、東京等首都圏からの受注拡大態勢を強化
概要	東京方面の顧客が当社営業員を介さずに、入稿した原稿を24時間いつでも直接校正できる「ウェブ校正システム」を導入、印刷前工程と営業の両面を強化する。また製本受注の増加も見込まれるため、作業効率が50%アップする「中綴じ折製本機」を設置し受注増に対応する。なお、本事業は量産化を目的としている。

取り組みのきっかけ

需要の大きい首都圏からの受注を獲得

県内市場の急速な縮小を補完するために、需要が大きく、またオリンピックなどの特需が期待できる首都圏市場での受注拡大が必要と感じていた。
今までの校正システムでは、顧客と相対して確認しており、遠隔地ゆえに人手・時間・コストがかかることから、簡便で距離感を感じさせず、付加価値を生む新しい営業スタイルの構築が必要であった。

革新的なものづくり・サービスの目標

デザイン、データ処理、印刷、製本までを秋田市の本社で行う

顧客からのデータをインターネット経由で受信。印刷～製本までの一貫工程が備わっている秋田市の本社で、コストを抑えながら製造する。

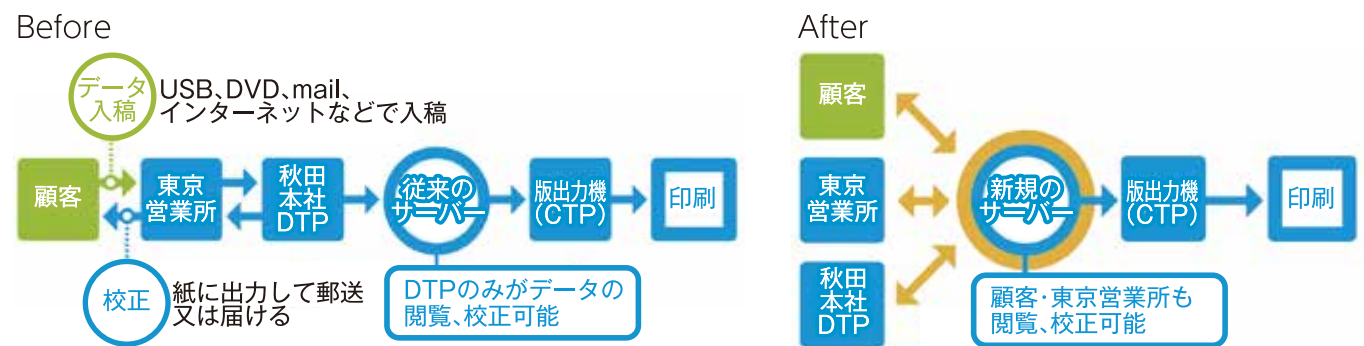
色校正作業の簡略化で地方印刷会社のハンディを解消する

時間や労力が掛かっていた紙面ベースによる色校正をインターネット経由で行い、校正作業のロスを減少させる。

革新的なものづくり・サービスのポイント

ワンストップサービス体制の強化

首都圏の同業者は、デザイン、印刷、製本をそれぞれ別会社が担い、分業化しているのが実態となっている。当社は、デザイン～印刷～製本をワンストップサービス体制で提供しており、それが首都圏から受注する際のセールスポイントにもなっている。ワンストップサービス体制にウェブ校正システムを加えることで、当社の強みをさらに強化する。



代表者	代表取締役社長 畠山 紀夫
TEL	018-888-3500
FAX	018-888-3505
URL	www.kappan.co.jp
設立	昭和21年3月20日

■資本金:4,550万円
■業種:印刷・同関連業
■従業員数:53人



従業員の健康管理を戦略的に実践している企業・団体を対象に、経産省が2017年2月、全国330社・団体を健康経営優良法人として選定しました。当社は、秋田県で唯一、また中小規模法人では印刷会社として全国で唯一、健康経営優良法人に認定されました(2017年2月23日現在)。

事業の成果

新システムを活用した受注を獲得

システム運用開始後、新たな受注を獲得している。デザイン、データ処理、印刷、製本を秋田本社で一貫作業することで、納期短縮とコスト削減を実現している。
実際にシステムを活用した発注先の担当者からも「これほど便利なものはない」との高い評価を頂いている。

色校正にかかる時間を短縮

従来、東京営業所でデータ受け取り後3～4日以上かかった初回色校正確認が、1～2日に短縮でき生産性向上につながっている。首都圏の印刷会社とのハンディが感じられなくなった。



デザイン・校正作業

今後の展開

首都圏での売上は29年度に1億円近くまでアップする見通し。「ウェブ校正システム」の活用は、まだ緒に就いたばかりだが、新規開拓の武器として可能性を秘めている。
同システム活用には完全データ入稿が前提となっており、今後はそうした入稿ができる受注先の開拓に際してシステムの有用性をアピールしていく。
首都圏での売上は当初目標(平成28年度8,400万円)を上回るペースで増大しており、システム活用によってさらなる上積みを図りたい。

事業者からの一言

弊社は今年で創立71年を迎えたが、現在の印刷市場の動向を考えると、「県外からの受注を取り込まないと明日はない」と考えている。平成25年の東京営業所に続き、昨年11月には名古屋にも営業所を開設し、隣県での営業活動も強化している。「ウェブ校正システム」を県外営業の武器として受注を増やしていきたい。